



千葉市青少年交流事業派遣生募集

次の時代を担う青少年に、お互いの国の文化や歴史等に触れ、視野を広げ将来の糧にしてもらうことを目的に、姉妹都市との青少年交流事業を実施します。今年アメリカ・ヒューストン市及びカナダ・ノースバンクーバー市への派遣希望者を募集いたします。

現地の人々との交流やホームステイを通して、机の上だけでは学べない貴重な経験ができるチャンスです！

派遣に関心のある方を対象に、事前説明会を開催します。

「海外に行ってみよう」「異なる文化を体験してみよう」「一歩踏み出してみよう」——そんな思いを持つ中高生の皆さん、ぜひご参加ください。

参加をご希望の方は、事前に QR コードからお申込み（電話でも可）のうえ、必ずご本人が説明会にご出席ください。



アメリカ・ヒューストン市派遣



カナダ・ノースバンクーバー市派遣

青少年交流派遣説明会

日時 令和8年4月12日(日)
14:00～17:15

会場 千葉市国際交流プラザ
(国際交流協会)
※地図は裏表紙参照
※保護者の同伴は1人まで可

申込 令和8年4月1日(水)～
4月9日(木)の9:00～17:00に
電話または下記のQRコード
(説明会申込フォーム)から
TEL 043-306-1034
※日曜日を除く



説明会申込フォーム▶

渡航先	アメリカ・ヒューストン市	カナダ・ノースバンクーバー市
所在地	アメリカ・テキサス州	カナダ・ブリティッシュコロンビア州
人数	4人	4人
対象	市内在住の中学生	市内在住の高校生
滞在期間(予定)	令和8年8月14日(金)～ 8月27日(木)	令和8年8月3日(月)～ 8月18日(火)
費用(予定)	自己負担額約30万円	自己負担額約28万円
主な資格	<ul style="list-style-type: none"> ●過去2年間以内に6ヶ月以上の海外渡航経験がないこと。 ●過去に市もしくは協会が実施した国際交流派遣事業に参加したことがないこと。 ●本人が必ず説明会に参加すること。 ●カナダは2027年夏に来日する派遣生のホームステイを受け入れられること。 	

※記載の内容は、都合により変更となる場合があります。

国際交流・国際協力 団体の皆さまへ

千葉市国際交流協会では、国際交流・国際協力に関する団体の活動に対し、経費の一部を助成します。

詳細は、4ページをご覧ください。

..... 目次

- P1 青少年交流事業 派遣生募集
- P2 千葉市外国人留学生交流員事業
- P3 コミュニティ通訳・翻訳サポーター事業 / 国際交流ボランティア育成事業
- P4 はなみがわにほんご多文化交流会
イラン料理講座
国際交流・国際協力団体活動助成申請団体募集
- P5 講座のご案内
- P6 生活相談・外国人法律相談・賛助会員募集

千葉市外国人留学生交流員事業 ～地域の皆さんとの交流を通して～

令和6年度より、留学生交流員が町内自治会行事に参加し、地域住民の皆さんと交流する取り組みを行っています。令和7年度は、第38地区（稲浜中学校区）の自治会等の行事に参加し、地域とのつながりを深めました。これらの活動は、留学生にとって日本社会への理解を深めるとともに、地域にとっても多文化理解を広げる貴重な機会となっています。

留学生交流員が参加した自治会行事

- ▶ 稲浜小地区夏祭り(7月12日)
- ▶ 避難所開設訓練（会議8月3日、訓練8月24日）
- ▶ 歩け歩け大会（10月19日）



千葉市第38地区
町内自治会連絡協議会
会長 太田 直隆

日本は島国であり、それ故に独自の生活習慣や文化を大切に守ってきました。その流れは未だに遺っており、外国人や異文化をありのままに受け入れることに難しさを感じる場面は少なくないかもしれません。

そんな状況下で、千葉市外国人留学生交流員を地域のイベントに招き入れました。夏祭りや運動会、歩け歩け大会等に参加してもらい、避難所開設訓練といった災害発生時の初動活動にも取り組んでもらいました。

郷に入っては郷に従え…とはいうものの、「彼らのためになったのか?」「本当に楽しんでくれたのだろうか?」と気がかりな面があったことも事実です。言葉の壁は大きく、また慣習の違いに戸惑いがあったのではと思っています。

それでも、共に身体を動かした程よい疲労感や、喜んだり笑ったりし合った時間は、確実に私たちの多様性への一歩になったと信じています。小さな地域の活動ではありますが、互いに違いを認め合い、手を取り合えるひとときの交流として、できる範囲で協力をしていきたいと思える事業でした。



稲浜小地区夏祭りで太鼓を体験



避難所開設訓練に参加



歩け歩け大会にて自治会の皆さんと



こども神輿渡御時の交通整理に協力



避難所開設訓練会議にて



歩け歩け大会にて小学生と一緒に

留学生交流員 の感想

- ★神輿や太鼓演奏を初めて間近で見て、同じ地域に住む皆さんが協力し合い、若い世代のために、日本の伝統を守り、受け継ごうとする地域の姿に感動しました。共に過ごした時間は、今も心に温かく残っています。
- ★母国には、避難所運営という防災活動がなく、今回が初めての体験でした。災害時には地域の協力が重要であることを学びました。
- ★普段の大学生生活では出会えない小学生や年配の方々と交流でき、地域に親しみを感じられる良い機会となりました。

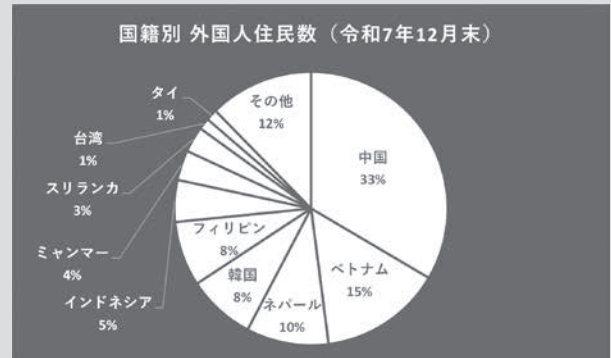
コミュニティ通訳・翻訳サポーター事業

■認定者数:総計48人／21言語(累計247人／30言語)
■育成講座開催:総計2回(養成講座(学校・医療分野))

近年、千葉市では外国人住民の増加が著しく、令和7年12月末時点で、千葉市総人口の約4.4%を占めるまでになりました。中でも、ネパール、インドネシア、ミャンマー出身の方々が大きく増えており、外国人住民全体に占める割合も年々高まっています。

こうした状況を受け、言語や文化の違いによる不安を少しでも解消し、安心して生活できる環境づくりを進めるためコミュニティ通訳・翻訳サポーター事業を実施しています。

今回は、今後更に需要の増加が見込まれるネパール語に注目し、実際にコミュニティ通訳サポーターとして活動されている、ドゥンゲル・ロシヤンさんにお話を伺いました。



ドゥンゲル・ロシヤンさん
(ネパール出身)

ネパール語コミュニティ通訳サポーター(令和5年度認定)

2009年10月、私は日本に来ました。最初にぶつかったのは日本語の壁。

役所の手続きや病院の説明は専門用語が多く、戸惑いの連続でした。生活のルールや時間厳守の文化にも慣れるまで時間がかかりました。

母国でも医療に携わっていた私は、「人の役に立つ」気持ちをそのままに、介護福祉士の道を選びました。利用者さんから「ありがとう」「あなたがいてくれると安心する」と言われる瞬間、この仕事を選んでよかったと心から思います。高齢者の方や支援が必要な方の生活を支える仕事に、大きな意味と価値を感じています。

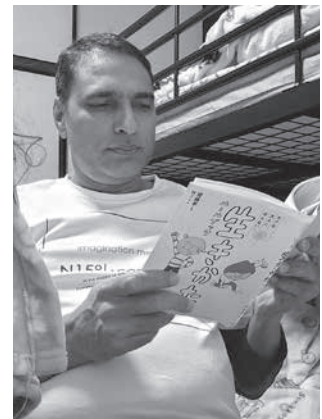
より専門的な医療知識と技術を身につけ、利用者さんを多方面から支えられるようになりたいと考え、看護師資格を目指しましたが、家庭の事情で断念しました。それでも、仕事と勉強

を両立しながら日本語の専門用語に取り組み、毎日少しずつ前に進みました。合格したいという強い気持ちと周囲の支えが私の背中を押し続けてくれました。

縁あって、私はコミュニティ通訳サポーターとして活動を始めます。言葉の壁で不安を抱える方は想像以上に多い。通訳の後に相手の表情がやわらぐ、その瞬間にこの活動の意義を深く実感します。心がけているのは、中立に、正確に、そして相手の気持ちに寄り添って伝えること。言葉だけでなく文化の違いも理解し、そばにいてだけで安心してもらえる存在でありたい——それが私の考える理想の通訳ボランティアです。

もちろん難しさもあります。専門用語が飛び交う場面や感情が高ぶる瞬間は緊張しますし、どの言葉を選ぶかで意味や印象が変わる責任の重さを感じることもあります。それでも、通訳を終えた後に「助かりました」「安心しました」と言ってもらえると、胸の奥が温かくなります。自分の力が少しでも誰かの役に立っていると実感できる瞬間です。

将来について、私に特別な大きな目標はありません。家族、そして近所の方々と一日一日を大切に生き、笑顔を広げていきたい。日本の国民健康保険や医療保険の仕組みをもっと深く勉強して、いつか母国にも活かしていく——その静かな願いを胸に、今日もまた、人の言葉と気持ちをつなぐ橋であり続けたいと思います。



国際交流ボランティア・リーダー会議

リーダー会議実施日 令和8年1月24日、3月7日

本会議には、通訳ボランティア・スキルアップ受講者で構成される自主学習グループのグループリーダーが参加し、各グループの活動報告や意見交換を行いました。お互いの団体活動内容や課題を共有することで、団体間の相互理解を深める貴重な機会となりました。

また、通訳ボランティアグループメンバーを対象に、学校での活用を想定した通訳養成講座を実施しました。急速に多国籍化が進む学校教育現場の現状や課題について理解を深めるとともに、事例をもとにしたグループワークや通訳演習を行いました。

これらの取り組みを通じて、各団体が持つ人材や経験といったリソースの活用方法を改めて見直し、市民による国際交流活動の更なる充実と活性化につなげるよう図りました。

イラン料理講座 交流サロン(都賀公民館共催)

(実施日) 令和8年1月25日(日) 10:00 ~ 15:00

(会場) 都賀公民館

都賀公民館においてイラン料理の講座を開催しました。講師にはイラン出身のマハナズさんを迎え、「ペルシャの宝石ご飯」と呼ばれる「ゼレシュク・ポロウ・バー・モルグ」をはじめ、計5品のイラン料理を調理しました。講師の説明を聞きながら、参加者の皆さんは香辛料や食材の使い方、調理工程について学び、イラン文化に触れる貴重な機会となりました。また、調理を通して異文化への理解を深めるとともに、参加者同士の交流も生まれ、終始和やかな雰囲気の中で講座を進めることができました。

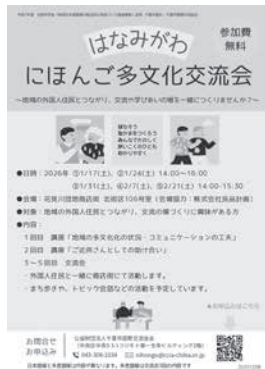


はなみがわにほんご多文化交流会

花見川団地エリアには外国人住民が多く暮らしています。地域の皆さんが日本語で声を交わすきっかけをつくるため、日本語サロン「はなみがわにほんご多文化交流会」を実施しました。

花見川団地では従来から、市役所、UR、自治会、良品計画など多様な主体が連携して地域活性化に取り組んでいます。(花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化に関する連携協定) 今回の取組みは、外国人住民を交えた共生の場を花見川団地商店街を中心に広げていくことをめざすものです。

交流会のプログラムは、地域の多文化状況やコミュニケーションの工夫、他地域での交流活動の紹介の他、お互いが困っていることの解決案を出し合ったり、今後の活動案を考えたりしました。



参加者のコメント紹介

「外国人の方々と交流でき、楽しい時間を過ごせました。少し話ただけでも、困っていること、不満に思っていることがあるんだと感じ取れました。もっと交流会を通して話ができたらと思います。」
 「価値観のちがう人と共通点を見だし協調し合うのは、こうすれば良いのかと参考になりました。」
 「海外の人と話す機会ができて良かったです。一人だと話が難しいですが、みんなで目的をもって集まり、話すのはとても楽しく有意義でした。」
 「きょうは いいこと はなす、べんきょう いっぱい おぼえた みんな ありがとうございます」

将来的に地域主体で運営される日本語サロンや多文化活動につながることを期待しています。

開催期間：令和8年1月17日～2月21日の全5回(2月14日を除く)

会場：花見川団地商店街 北街区106号室(会場協力：株式会社良品計画)

国際交流・国際協力団体活動助成申請団体募集

千葉市国際交流協会では、千葉市の国際交流・国際協力活動の促進を図ることを目的として、団体の自主的な活動に対し、経費の一部を助成します。

対象事業

令和8年4月1日から令和9年3月8日までに、団体が自主的に実施する次のいずれかの事業

- A事業** ①外国人市民支援事業(外国にルーツをもつ方への日本語学習支援に関する事業)
- B事業** ①外国人市民支援事業(日本語学習支援以外の事業)
 ②日本人市民の多文化理解や外国人市民の日本文化理解を促進する事業
 ③国際協力・支援事業
 ④姉妹・友好都市交流をはじめとした国際友好親善を促進する事業

助成金額

- A事業** A-1 主に18歳以下の児童生徒を対象としたボランティアによる日本語教室を運営する団体
 助成限度額32万円：内訳 ①20万円まで：活動日毎のボランティアの人数×活動日数×500円=助成金額
 ②12万円まで：会場の使用料・賃借料
- A-2 主に大人を対象とした日本語教室を運営する団体
 助成限度額10万円：活動日毎のボランティアの人数×活動日数×500円=助成金額

B事業 助成限度額10万円：助成対象経費の2分の1以内

注意：1団体につき年度内1件かつ、A-1・A-2・B事業の内1つのみの申請とします。
 助成団体・金額は、審査委員会で決定します。

申込

[令和8年5月7日(木)～5月21日(木) 17:00必着]申請書(協会のホームページからダウンロード、窓口でも配布)を提出してください。対象団体、申請方法など詳細は、5月1日以降に協会のホームページをご覧ください。

講座のご案内

1. 日本語クラスのご紹介

千葉市生活者の日本語習得を促進するため、各種日本語クラス等を実施します。
日本語教師が担当するクラス、日本語交流員と1対1で日本語で会話をするもの等、色々な学習の場を用意しています。学習目的やレベルにあったクラスを紹介できるように日本語教育専門のコーディネーターを配置しています。相談は無料です。(千葉市在住・在勤・在学の方が対象です)
協会ホームページ内の「日本語理解度チェック」から相談の予約をしてください。



日本語のレベル [日本語教育の参照枠]として全体的な尺度で日本語能力の熟達度	学習頻度等	クラス名/料金/内容	詳細 日程等は協会HPをご覧ください
全く日本語が分からない人～中級(A1～B1レベル)	週1回 (2時間×全12回)	グループ学習クラス/4,800円 教師や日本語交流員がサポートしながら自習や協働学習をするクラスです。入門・初級・カタカナや漢字の読み書き・会話の練習等、グループに分かれて自律学習をします。 教材：グループによって異なります	
初級(前半) ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶が分かる人向け(A1)	週2回 (2時間×全30回)	初級クラス1/12,000円 日本語の基礎的な文の作り方や語彙・表現を習得しながら、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが表現できるように学びます。 教材：「わたしを伝える日本語 1」 ※千葉市国際交流協会オリジナル教材	
初級(後半) 初級クラス1が終わった人向け(A1～A2)	週2回 (2時間×全20回)	初級クラス2/8,000円 初級クラス1に引き続き、身近なテーマの会話や文章の意味がわかり、自分のことが言えるように学びます。初級後半の文法も学びます。日本語を使って実践的な活動もします。 教材：「わたしを伝える日本語 2」 ※千葉市国際交流協会オリジナル教材	
初級～ひらがな、カタカナ、数字や簡単な挨拶が分かる人向け(A1～A2)	いつでも自分のペースで (6カ月間)	オンデマンド日本語学習プログラム 「社会生活に役立つ 千葉市日本語学習プログラム」/2,000円(スクーリング代) eラーニングとスクーリングで日本語学習をします。	
初級終了～中級(A1～B1)	年に12回 (1回1時間)	オンライン日本語交流クラス/800円(1期4回) 日本語コミュニケーションの力をつけます。	
	週1回 (1～2時間/回、3カ月間)	1対1日本語活動/500円(事務手数料) 日本語交流員と1対1で日本語で会話をして、日常会話に慣れたり、生活に役立つ表現、情報を知ることができます。	

日本語学習相談「日本語理解度チェック」予約方法

協会ホームページから予約できます。
※予約なしの場合はコーディネーター不在等で対応できない場合があります
ありますので予約をお勧めします。

問合せ

メール(nihongo@ccia-chiba.or.jp)
電話・協会窓口(裏表紙参照)

QRコード



ホームページから

TOPページ>「日本語学習」>「協会で日本語学習を始める」>「日本語学習をはじめするには」>ページ内の「日本語理解度チェックを予約する」から予約

2. 日本語交流つなげて講座

千葉市は多様な言語・文化を背景にもつ市民同士がともに暮らし、ともにまなぶ地域づくりを推進しています。こうした地域づくりの担い手をめざす方を対象に、多文化化の状況や外国につながる市民との日本語交流についての基礎を学びます。
講座概要を動画(Youtube)で公開していますのでご覧ください。

全5回で学ぶこと

まちの多文化化と「つなげて」の役割

背景や価値観の異なる人々と、ともにまなび、ともにくらすために、どのような活動ができるでしょうか。千葉市の外国人市民の状況や「つなげて」の役割について学びます。

外国につながる市民と話してみよう

まず、生活上の身近なテーマで外国人市民と話します。その後、内容をふりかえりながら、対話の意義や課題について考えます。

多文化化における「文化」とは

文化がちがうとはどういうことでしょうか。「つなげて」として活動するにあたり、「文化のちがひ」や「ことばと文化の関係」について考えます。

やさしい日本語「聴く」と「待つ」

日本語に慣れない人々とコミュニケーションをとるとき、どんなことが役に立つでしょうか。講座内容をもとに、コミュニケーション上の工夫や姿勢について学びます。

「つなげて」としての実践

地域の様々な場で、一人一人が「つなげて」として何ができるでしょうか。本講座で学んだことをもとに、具体的に考えます。最後に講座全体をふりかえり、今後の実践につなげます。

講座紹介ページ

概要動画はこちらのホームページからアクセスしてください



受講料

3,000円(賛助会員価格の設定はございません)

申込方法

講座開始の約2カ月前から申込受付開始予定。参加者募集について協会ホームページに掲載します。

注意事項

- ①協会の「1対1日本語活動」や協会の日本語クラス内で活動するためには本講座修了(全5回出席)及び当協会ボランティア登録が必要です。なお、令和3年度までに実施した「新基本講座基礎編・実践編」、「日本語学習支援者講座」を修了された方は本講座の重複受講は不要です。
- ②お子様連れの受講はご遠慮ください。
- ③日本語教授法の講座ではありません。

外国人生活相談窓口

Daily Living Consultation Desk / 生活相談窓口 /
외국인 시민을 위한 생활 상담 창구 /
Ventanilla de Consultas para Residentes Extranjeros /
Tư vấn cuộc sống cho người nước ngoài sống tại thành phố Chiba /
Консультаційний центр для іноземних громадян

まどぐち でんわ
窓口・電話・E-mail・LINEで

くらしの相談を受け付けています。

対応言語

日本語(やさしい日本語)・英語・
中国語・韓国語・スペイン語・
ベトナム語・ウクライナ語



外国人生活相談案内



LINE 外国人相談

- * 各言語の対応時間については、右のQRコードからご覧いただけます。
- * LINEでの相談は、ご自身の個人情報に関わることは相談できません。

外国人のための無料法律相談



法律相談

日常生活で起きる法的なトラブルについて、
弁護士に無料で相談できます。
通訳が必要な方は、事前の予約が必要です。

申込方法 電話または窓口

場所 千葉市国際交流プラザ

編集・発行

公益財団法人 千葉市国際交流協会

〒260-0013
千葉市中央区中央3-3-1
フジモト第一生命ビルディング2階

TEL 043-306-1034
FAX 043-306-1042

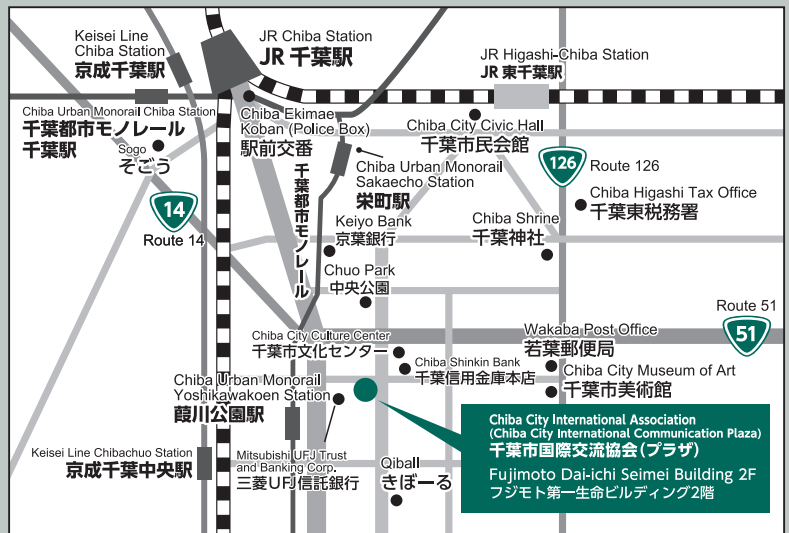
E-mail ccia@ccia-chiba.or.jp



HP



facebook



賛助会員募集

会費

学生・外国人会員: 1人 1,000円より / 半年
個人会員: 1人 2,000円より / 年
団体・法人会員: 1団体・法人 10,000円より / 年

特典

- ① 協会情報誌「ふれあい」の送付
- ② 協会主催有料講座の受講料割引
★ 団体・法人会員の場合、5名様まで②の割引対象となります。
- ③ 千葉市美術館観覧料2割引・千葉市科学館入館料2割引(※1)
※1 千葉市科学館セット割の割引はありません
※2 割引の利用時には窓口で賛助会員証(有効期限内)を提示してください

申込・お支払い

ホームページからお申込みいただけます。
また、便利なクレジットカードでのお支払いもできるようになりました。
【賛助会員年会費クレジットカード支払いについて】
銀行振込・振込用紙での支払・窓口での支払の他、オンライン上でクレジットカード決済も可能です。ぜひ、ご活用ください。
(決済可能クレジットカード: VISA, Mater, AMEX, JCB)



賛助会員申込(個人)

広告募集

協会情報誌「ふれあい」に 広告を出しませんか?

次号は令和8年7月発行予定!
年3回各回3,000部発行しています。

費用 1単位5,000円
(サイズ縦45mm×横85mm)

配布先例 千葉市国際交流協会賛助会員、
区役所、コミュニティセンター、
公民館、千葉市美術館、
千葉市生涯学習センター、図書館ほか
千葉市国際交流協会のホームページ
及びFACEBOOKにも掲載します。